

マザーハウス

たより

あなたは愛されるため、また、愛するために生まれてきたのです。
あなたが必要であり、大切です。マザーハウスはあなたの家族です。

2019

月号

- 2 理事長挨拶
4 特別コーナー①
10 ささきみつおコーナー
11 育児日記
11 塀の中のたより
18 Lovely DAYS

- 18 特別コーナー②
20 健康相談窓口
21 つぶやき！
21 みんなの！回復プログラム 入門
22 回復プログラム 入門
22 プリズムアート倶楽部
23 行事予定
23 お知らせ

光る

このマザーハウスたよりは、公益財団法人日工組社会安全研究財団の助成により作成したものです。

移送・出所される方は、必ずご一報ください。／皆様、23ページのお知らせをご覧ください。

表紙.. 光りんさん
「月夜のマーメイド」

理事長挨拶

per-pastorale-carceraria-20191108.html)

☆

教皇「切り捨ての文化を乗り越え、
受刑者への寄り添いを」

皆さん、いかがお過ごしでしょうか？風邪は引いていませんか？今年もあと一か月少いで終わります。

今月は、私が尊敬してやまない教皇フランシスコが来日します。社会復帰して、もがみ苦しんでいた時に教皇に手紙を書き、返事を頂いたことは、神様からの大きなプレゼントでした。今でも教皇が、受刑者の人たちの回心のために祈りをしてくださっていることに感謝です。

教皇のメッセージ

十一月八日のバチカンニュースに、教皇のメッセージがありました（原文ママです）。
(<https://www.vaticannews.va/ja/pope/news/2019-11/incontro-internazionale->

教皇フランシスコは、十一月八日、刑務所司牧をめぐる国際会議の参加者とお会いになった。教皇庁人間開発省（長官：ピーター・タークソン枢機卿）の主催によるこの会議では、「人間の統合的成長とカトリック教会の受刑者司牧」をテーマに、ラテンアメリカ、米国、ヨーロッパ、アフリカ、オセアニアの刑務所付司祭らが集い、意見を交換した。

教皇は参加者への言葉で、しばしば教育より抑圧、成長の機会を提供するより閉じ込めることを容易と考える、刑務所の現実を見つめられた。これに対し、刑務所とは社会復帰へのプロセスを促し、人間的成長と、教育、就労、健康へのアクセスを保証する場所であるべきだと述べられた。

教皇は、過ちを犯した人に更生のための助けを差し伸べるより、切り捨てをよしとする社会・文化を乗り越え、教会は司牧を通して受刑者にいっそう寄り添うべきと説かれた。こうした中、教皇は受刑者への司牧を考える上での、二つのイメージを示された。

一つは刑務所の居室の「窓」である、と述べた教皇は、地平の彼方を見つめずして人生

を変えることはできない、いかなる受刑者にも地平線を見つめるための窓が必要、と話した。もう一つは、受刑者への面会を求める女性たち、特に母親たちのイメージである、と教皇は語った。これらの母たちは恥を恐れず、受刑者である息子たちのために、顔を隠すことなく会いに来る。教会もこれらの女性たちの母性と行動から学ばなくてはならない、と話された。

教皇は、日頃刑務所で受刑者に奉仕する人々を、聖母の保護に託して祈られた。

☆

マザーハウスでも、菊地功大司教の主司式で、十月十九日に受刑者のためのミサを、カトリック麹町教会（聖イグナチオ教会）で行いました。私の願いは、全国のカトリック教会の教区で実施することです。教皇の姿を見てキリストに生きている司教であれば、実施してくださると信じています。何故ならキリストは小さい人々と一緒にいるからです。

令和



M刑 Aさん

危ない模範囚

先日、ある受刑者から、「模範囚が一番危ない」と私が言っていることについて質問が来たので、お答え致します。これは私の考えであることをご理解ください。

ニュース報道にもあるように、仮釈放で模範囚であった方が、殺人事件を犯して逮捕されました。これは一人や二人ではありません。刑務所で刑務官の言われた通り、逆らうことをせずに行動していれば、刑務所では過ごしやすいです。私は再犯刑務所にいた時にそう感じました。刑務官の奴隷に徹する人たちは、反省なんて全く考えていません。一日も早く仮釈放で出たいと考えています。当法人にも、「仮釈放で出たいので身元引受人になつてほしい」と、多数の手紙が届きます。

本当の意味でキリストの姿を現している模範囚なら危なくないです。何故なら、キリストは徹底的に悔い改めさせて、義の道を教え、歩ませてくれるからです。キリストの愛と赦しに基づいて、受刑中からキリストの愛を実践しているからです。

悔い改めのない人たちは自分のために生きており、被害者やその関係者のことなど考えていません。従順な態度を示していても自分

のためであり、人のためではないのです。受刑中の姿を見れば良く分かります。人のためにどれだけ自分を捧げることができかです。

刑務所でも目の前の人を愛し、人のために行動することが出来ます。私は「キリストに生きる」と誓ってから、生き地獄のような状況の中、獄中で介護を実践してきました。それ以外にも、報奨金の中から、カリタスジャパンを通して、苦しんでいる人たちに寄付もさせて頂きました。自分のためではなく、見栄のためでもなく、キリストに従うため、人のために、自分を使いました。

もちろん、受刑中、たくさん祈ってきました。しかし、マザー・テレサやブラザーから、神様に祈って実践しなければ、キリストに生きることはできないと教えられました。だから、聖書に「子たちよ、言葉や口先だけではなく、行いを持って誠実に愛し合おう」（一ヨハネの手紙三章十八節）とあります。

「今の私には何もできません」という手紙をよく見ますが、刑務所でもキリストに祈り、キリストの愛を実践することが出来ます。私は受刑中、未信者だったこともあり、「なかなかってクリスチャン」と言われ、いじめや非難を受けましたが、介護を通してキリストの愛を実践して来しました。神様が私に実践の場を与えてくださいました。

皆さんが模範囚であるかどうかは知りません。でも、手紙や言動から、神様が相手のことを教えてくださいます。社会にも、模範囚のような良い子ちゃんがいっぱいいますが、傲慢な者がほとんどです。自分が義であり、正しいと思っているのです。謙遜になり、小さい者になることができず、だから人のために生きることができないのです。

私を指導してくださった森一弘司教が、「クリスチャンほど危ない者はいない」と言っていました。が、今、その意味が良く分かるようになりしました。私にとっての模範囚とは、自分を捨てて、人のために行動し、真の愛を実践する人です。キリストに祈り、キリストの姿を現す人です。

多くの模範囚が、自分に生き、傲慢で、外側だけ清くしています。内側は真っ黒です。刑務官の前でだけ綺麗な自分を見せて、改悛がないのです。分かりやすく言えば、上辺だけの人、ということです。だから危ないです。

活動報告

十月三十一日からの京都研修旅行に、マザーハウスのメンバーが八名参加しました。三十一日は、龍谷大学の赤池教授の授業があ

り、勉強させて頂きました。午後は全員で立命館大学の森久教授のところに伺い、ゼミ生と交流しました。

十一月一日の午前は観光で、午後は、龍谷大学法学部での私の講演会に、メンバー全員が参加しました。二日は、午前が京都社会福祉士会との交流会、午後は石塚教授、阿部恭子さん、片山徒有さん、当事者のMさん、龍谷大学の学生、私でシンポジウムをしました。

三日は、鴨志田弁護士、阿部恭子さん、中本忠子さん、山口由美子さん、森久教授、私でシンポジウムをしました。終了後、龍谷大学の学園祭に参加し、深夜に東京に戻ってきました。色々な人たちと出会い、声を聴いて頂きました。深く学ぶことができました。

十月に入ってから、三名の方がマザーハウスを裏切って出て行きました。この人たちは、自分のことしか考えていないと思います。そのような行動を取っていれば、だんだんと自分の居場所がなくなってしまうだけです。

受刑者の皆さん、マザーハウスを利用して更生はできません。自分で変わろうとし、人とのつながり、社会とのつながり、そして何よりも社会に土台を作らないと社会復帰は難しいです。何でも相談できる人や居場所を作ることが必要だと思います。住居のことを心配している人がいますが、生活保護を申請すれば、一時的に簡易宿泊所に泊まることになりますが、アパートに転貸することもでき

ます。出所にあたって頼るところがない方は、出所前に手紙、そして出所日の朝に電話で連絡をください。ただし、当法人にて一からやり直す気がある人です。腹を括って来てください。中途半端は困ります。

受刑者の皆さんの中で、当法人を身元引受人として申請している人たちにお知らせします。

刑務所の分類課から引受不可の告知をされているようですが、その中で「マザーハウスには引き受けの意思がない」という、でたらめな説明をしているようです。

身元引受決定通知書は、審議の上で理事会が決定したことです。引き受ける意思がなければ最初から決定通知書は発行しません。何より、保護観察所からは、環境調整（※帰宅環境の調査とともに引受意思の確認等を行う）としての連絡が一切来ていない状況です。こちらが言っていないことを受刑者に告知するとは、言語道断であると思います。このようなウソ偽りを平気とする法務省の組織に呆れかえます。

引受人に関することは当法人では全く分かりませんので、直接、東京保護観察所に問い合わせください。当法人もアタックを続けませんが、受刑者の皆さんからもアタックすることが大切です。

先日、今まで関わっていた七十四歳のおじいちゃんに、断腸の思いで介護施設へ入所して頂きました。当法人だけで全てをサポートするには限界である、と私が決断致しました。彼を通して大きな愛を学ぶことができました。仲間たちも、各々が一生懸命、おじいちゃんと関わってくれました。優しい仲間たちと、「マザーハウスは家族です」と言ってくれたおじいちゃんに感謝です。

また、六十八歳の新しい仲間が加わりました。大変な状況ですが、みんなと協力しながら関わっていかれたらと思っています。いつも神様が助けてくださいます。私は「神様、助けて」と叫びながら、毎日活動しています。

特別コーナー①

受刑者のためのミサ 説教・講演

★今年十月十九日に行なわれた、受刑者のためのミサでの菊地功大司教の説教・講演内容をご紹介します。

ミサ説教

「安楽な生活を守ろうとするのではなく、助けを必要としている人のところへ真っ先に駆けつける挑戦を」

まもなく十一月二十三日になりますと、教皇フランシスコが来日をされることになりました。三十八年前にヨハネ・パウロ二世が初めて教皇として来日をされた時は、まだ五十年代後半の若々しい教皇でありましたから、その時と同じように、今年八十三歳になられる教皇フランシスコが、朝から晩まで精力的に行事をこなすというわけには、今回はいかないと思います。もっと色々な機会を各所に設けて、直接教皇様に会って頂き、教皇様の話を耳にして頂きたかったですけれども、そのような年齢も考えて、今回は最低限の行事となりました。



横須賀のコンチヨさん
「キリストの愛を知る」

長崎や広島では、核兵器廃絶や、平和に関するメッセージが世界に向けて発表されることとあります。そして東京では、政府の行事として要人方とお会いになります。教会の行事としては、東北の大震災の被災者の方々に慰めのメッセージを発し、青年たちと出会い、東京ドームでミサを捧げられることになっていきます。

教皇フランシスコが今回日本を訪れる一番の目的はいったい何なのか。今の段階では、国内外の報道を見ても、どうしても広島、長崎のメッセージに注目が集まっています。それは教会だけではなく、広く一般の方々や政府の関係者も、教皇様が核兵器に関するメッセージを述べることを期待し、重要視しているように感じます。しかし私は、教皇様の今回の来日の目的は、それだけに留まるものではないと思っています。

今回の訪日のテーマは、「すべてのいのちを守るため」とされています。私はこの「すべてのいのちを守るため」のテーマにこそ、今回の教皇様来日の一番の大切な目的が示されていると感じます。

カトリックの信徒にとって教皇様はもちろん、この世におけるキリストの代理者です。世界にいる十三億人ほどの信徒を抱える巨大教会組織のトップではありますけれども、それ以上に教皇様には重要な役割があります。

教皇の地位は、あのガリラヤの水辺で、主イエスご自身が、一番弟子であるペトロに天国の鍵を与えて、その首位権を宣言したことに基づいています。ですから教皇様にとって、この世界において一番弟子の後継者としての役割を果たすこと、すなわち、教会共同体という大きな羊の群れの先頭に立って、主から与えられた使命を率先して果たす姿を見せること、その姿を模範として全ての人に示していくこと、これこそが重要な一番弟子としての使命なのではないかと思っています。

主イエスご自身が残された様々な教え、そして命令の中で、一番重要な命令はいったい何なのか。それは主イエスが十字架の上の受難と死に打ち勝って復活され、御父の元へと戻られる時、弟子たちに対して命じた最後の命令、すなわち「全世界に行って福音を宣べ伝えよ」「全ての人に父と子と聖霊の御名によって洗礼を授けよ」という福音宣教の命令であります。ペトロの後継者である教皇にとって、一番大切な務めは、皆の先頭に立って、目に見える形で具体的にこの福音宣教の命令を果たしていくこと、それを模範的に果たしていくこととあります。二〇一三年三月に教皇フランシスコが選出されて以来、今日に至るまで、教皇フランシスコが率先して語り、行動してきた最優先事項は、まさしくこの福音を伝える、福音宣教命令を率先して模範的に実行することであつたと思います。

教皇フランシスコが、選出後の最初の司牧訪問先に、地中海に浮かぶランペドゥーザ島を選ばれたのは、ご存知の通りだと思います。アフリカに一番近いヨーロッパ、地中海に浮かぶイタリア領のランペドゥーザ島には難民が押し寄せ、今でも難民が押し寄せています。そこで教皇様はミサを捧げ、世界中に向かって、「忘れられてよい人は一人もない。排除されてよい人は一人もない」という、教皇様ご自身の福音に生きる姿勢を明確に示す説教をされました。その説教の中で、「世界中の人々が自分の生活を守ることばかりに固執し、困難を抱える他の人々への思いやりを失ってしまった」と非難され、「そういう姿は虚しいシャボン玉の中に閉じこもっているようだ」と指摘をされました。この説教で教皇様は、「無関心のグローバル化が進んでいる」とも指摘をされました。

教皇フランシスコのこの姿勢は、その後に発表された「福音の喜び」という文章でさらに明確にされています。教皇様は、教会のあるべき姿として、「出向いていく教会。外に向かつて出向いていく教会であるのが大切なのだ」と掲げられ、安楽な生活を守ろうとするのではなく、常に挑戦し続ける姿勢を教会に求められました。

失敗を恐れずに、常に挑戦をし続ける教会であります。しかもその挑戦は、むやみやたかな挑戦ではなく、困難に直面し、誰かの助

けを必要としている人のところへ真っ先に駆けつける挑戦であります。

そして「福音の喜び」には、「イエス様は弟子たちに排他的な集団をつくるようにとは言わなかった」という言葉もあります。その上で教皇様は、「教会は無償の憐れみの場ではなくてはなりません。全ての人が受け入れられ、愛され、赦され、福音に従う良い生活を送るよう励まされる、と感じられるものでなければならぬ」とも指摘されています。

「神はこの世界に誕生する全ての命を愛しておられる。一つとして忘れられることなく、全ての命が与えられた使命を十分に果たすことができる社会が実現されることを神は求められている。だから教会は排除するのではなく、弱い立場にある人、世間から忘れられた人、誰からもかえりみられることのない人、困難に直面する人、命の危機にある人の元へ、積極的に出向いていかなくってはならない。神の慈しみに満たされて、ともに共同体をつくり上げていかなければならない」と説き続けられています。

後に発表された「キリストは生きている」という文章には、「和解」について述べた箇所があります。教皇様はまず、「あなたの霊的成長はまず何よりも、兄弟的で寛大で、思いやりのある愛において示されます」と指摘された上で、あの虐殺事件を経験したルワン

ダの司教たちの文を引用して、次のように言います。「相手との和解にはまず、その人には神の似姿としての輝きがある、と認めることが必要です。真の和解に至るためには、罪を犯した人と、その罪や悪行を分けて受け止めることが欠かせません」。

教会は神の慈しみを具体的に表す存在として、社会の中にあつて、和解の道を常に示す存在でありたいと思います。教会は互いの人間の尊厳、神の似姿としての互いの価値を認め合い、困難に直面する人々に手を差し伸べ合う共同体でありたいと思います。教会は、神の慈しみをこの社会の中で具体的に示す、模範的な存在でありたいと思います。



光りんさん

「あなたに聴かせたいメロディー」

ですから私たちは、自らの過去を顧みながら、回心、そして赦しを求めている人に、善なる道が示されるように祈りたいと思います。と同時に、犯罪の被害に遭われた方々には、心と体の癒しがあるように、慈しみ深い主の御手が差し伸べられるように祈りたいと思います。犯罪の加害者、そして被害者ご家族の生きる希望のために祈りたいと思います。そして全ての命が、神の望まれる道を歩むことができるように、受刑者の方々に、また犯罪の被害者の方々に、支援の手を差し伸べようとする全ての人のためにも、心から祈りたいと思います。

福音のメッセージを、その言葉とそして行いで、はつきりと私たちのために示そうと、日本に來られる教皇フランシスコの日々の模範に倣って、私たちも勇気をもって福音を証しし、神の慈しみを体現する生き方を選び取っていききたいと思います。

ミサでの聖書朗読箇所

【第一朗読】

エゼキエルの預言 三十三章十一〜十六節

彼らに言いなさい。わたしは生きている、と主なる神は言われる。

わたしは悪人が死ぬのを喜ばない。むしろ、悪人がその道から立ち帰って生きること喜びぶ。

立ち帰れ、立ち帰れ、お前たちの悪しき道から。イスラエルの家よ、どうしてお前たちは死んでよいだろうか。

人の子よ、あなたの同胞に言いなさい。正しい人の正しさも、彼が背くときには、自分を救うことができない。また、悪人の悪も、彼がその悪から立ち帰るときには、自分をつまずかせることはない。正しい人でも、過ちを犯すときには、その正しさによって生きることができない。

正しい人に向かって、わたしが、『お前は必ず生きる』と言ったとしても、もし彼が自分自身の正しさに頼って不正を行うなら、彼のすべての正しさは思い起こされることがなく、彼の行う不正のゆえに彼は死ぬ。

また、悪人に向かって、わたしが、『お前は必ず死ぬ』と言ったとしても、もし彼がその過ちから立ち帰って正義と恵みの業を行うなら、すなわち、その悪人が質物を返し、奪ったものを償い、命の掟に従って歩き、不正を行わないなら、彼は必ず生きる。死ぬことはない。彼の犯したすべての過ちは思い起こされず、正義と恵みの業を行った者は必ず生きる。

【福音書朗読】

マタイによる福音 二十五章三十一〜四十節

「人の子は、栄光に輝いて天使たちを皆従えて来るとき、その栄光の座に着く。そして、すべての国の民がその前に集められると、羊飼いが羊と山羊を分けるように、彼らをより分け、羊を右に、山羊を左に置く。

そこで、王は右側にいる人たちに言う。『さあ、わたしの父に祝福された人たち、天地創造の時からお前たちのために用意されている国を受け継ぎなさい。お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渴いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。』

すると、正しい人たちが王に答える。『主よ、いつわたしたちは、飢えておられるのを見て食べ物差し上げ、のどが渴いておられるのを見て飲み物を差し上げたでしょうか。いつ、旅をしておられるのを見てお宿を貸し、裸でおられるのを見てお着せしたでしょうか。いつ、病気をなさったり、牢におられたりするのを見て、お訪ねしたでしょうか。』

そこで、王は答える。『はつきり言うておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』

ミサ後の講演 「死刑に対するメッセージ」

教会は、信仰の中で命の大切さを初めからずっと言っています。様々な歴史的背景を探っていくと、色んなことが起こってきたのが分かります。特に、第二次世界対戦の後から、一人ひとりの命の大切さを深く考えるようになり、その話題は、一九六〇年代半ばから行われた第二バチカン公会議の中でも取り上げられました。

現代社会の中で人間の尊厳を振り返ってみて、何かの理由をつけて命を奪うということが許されるのか、というのを改めて考えてみると、どう考えても、命を奪うということは許されないのではないか。なぜならば、創世記一章二十六節「神は言われた。『我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう』」：神というのは、キリスト教の信仰の中では、百パーセント完全な存在であります。それに限りなく近い存在として神は人を造られた、と書いてあります。創世記一章三十一節「神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった」：人間の命は、神の似姿として造られたところに、人間の尊厳の根源がある。だからこそ神は良いものとして、命を人に与えられた、と考えた時に、与えられた人間が人の命を勝手に奪っ

てしまう、という権利はあるのだろうか、と色んな議論がありました。

当初は、正当防衛なら許されるのではないが、自分の命を守るために何らかの形で他人の命を奪ってしまうのは許されるのではないか、という議論が出てきました。社会の共同体を守るために、共同体の正当防衛として犯罪者を死刑に処することが許されるのではないだろうか、という考え方が根底にありました。でも、そうはいっても、社会がだんだん進化していく中で、いつまでもそういう形での正当防衛が認められて良いのだろうか、という議論も出てきました。

その中で、教皇ヨハネ・パウロ二世の「いのちの福音」が発表されました。そして、特に人間の命は神からの賜物であり、尊厳のある存在であって、命の始まりから終わりまで、どの段階においても、すべからず尊厳を守られなければならない。人間にはどの段階においても、人の命の価値を判断する権利は与えられていない。ということを明確に示されました。

人生の局面には様々な問題が出てきます。現代社会では、高齢化社会での高齢者の生活の問題、障がいのある方の命の問題、医療技術の進化によつての安楽死、尊厳死などにおいて人間の命をどう捉えていくかという問題、などがあります。

「人間の命は、始まりから終わりまで徹底的に守られなければならない」ことを根本に置いた時に、では死刑はどうなのか。ヨハネ・パウロ二世は、国連の場で控えめの表現をされましたが、死刑は許されるものではない、死刑を選択する必要性はもう無いのではないかと、ということを語り始めます。その態度は、次のベネディクト十六世もそうですし、今の教皇フランシスコにまで引き継がれてきました。

教皇フランシスコは、カトリック教会の力テキズム——教会の教えを要約、集約したものであり、教会の様々な教えを学ぶときに使われますが——の中で正当防衛を認める文脈があり、社会の正当防衛として死刑を認める一文が残っていたので、そこを書き換えるようにと指示されました。そして、死刑は許されない、どんな理由があっても人が命を奪うことは許されない、ということを明確に示されました。ですから今のカトリック教会は、命の尊厳という観点から、常に、今の社会の中で、人間の刑罰としての死刑は賛同するべきではない、という立場を明確に取るようになっていきます。

議論が分かれるところなので、全ての人がすぐに納得することではなく、問題があるところとは分かっています。論理的に考えると、どうしても命は大切だと言っているのであれば、その命が何かに限定されるわけでは

ない。誰かの命だとか、どの段階の命だとか、どこかに限定されるわけではありません。普遍的に命は大切だと言っているのであれば、それに見合った行動、選択を教会はせざるを得ませんし、言わざるを得ません。様々な状況を見たとしても、社会の中で死刑というものを選択することは許されるのだろうか、と考えた時に、信仰の立場から、許されるべきことではない、と言わざるを得ません。

そういう意味でも、——十一月二十三日から二十六日まで教皇様が日本にお見えになり、二十五日、二十六日と東京におられますが、その間に様々な会合が設定され、ミサもある中で、それぞれのメッセージがバチカンで準備されていると思います——教皇様はどこで何を話されるか、というメッセージのテーマは決められています。内容まではまだ確定していませんが、その中に死刑廃止問題が含まれるようにと、様々な方面から働きかけが続けられているところです。

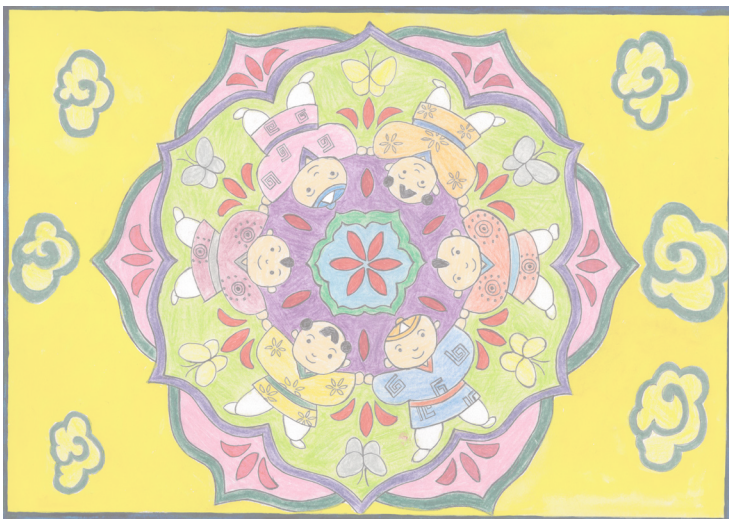
どうしても核兵器廃絶に関してのメッセージに注目が集まり、私自身も、内外のメディアの方々からも必ずそのことから聞かれ、「広島、長崎での平和メッセージの中の核兵器廃絶についてはどう思いますか」と聞かれます。いつもお答えしているのは、「核兵器廃絶を意識するのはとても大切なことであるし、原爆被害を受けたという歴史的背景がある場所を、世界に向かって発信するのはとても良い

ことだと思っています。と同時に、社会の中で様々に抱えている命の問題ということに対しても、教皇様から様々な形で話されて頂きたいと思っています」という内容です。

そして個別の問題に関して、一つの大きな問題は、ローマ教皇というのはバチカン市国の元首なので、他の国に行つて、その国の内政について直接干渉することを控えるのは当然です。ですからその国に対して、直接この政策が良い、悪いとおっしゃることは有り得ません。一般的な話として、命を大切にすること、ということに対して、何らかの力強いメッセージが教皇様から発せられることを私たちは期待しているところであります。そういう意味も含めて、ただ単に核兵器廃絶の問題だけに留まることがないように、という意味で、「すべてのいのちを守るため」「PROTECT ALL LIFE」という今回のテーマがあります。

非常に、現状を顧みた時に意義のある大きなテーマがそこには込められていて、それはとても有難いことだと思えます。それは死刑の問題だけに限らず、今、様々な問題により人間の命は危機に陥れられている。世界の人々から見たら、こんなに発展して豊かで安全で安心できる国は無いと思われていますが、その中で人間の命が様々なかたちで危機に晒されている。例えば、少子高齢化が進む中で、高齢者の方々が誰からも顧みられるこ

となく孤独死されるとか、生きる希望を失った方々が自死を選んでしまふとか、若い子供たちが、人生が始まったばかりの段階で自ら命を絶つところまで追い込まれてしまふとか：また、少子高齢化だと叫ばれる中でせっかく生まれてきた幼い子供たちが、虐待の中で命を落としている。貧困の中で孤立して、誰からも助けられずに命を落としている。私たちの毎日の生活の中で報道されているものを見ただけでも、いくつもの命を危機に陥れることが存在していると思います。



河童さん「友よ輪になって」

それに加えてここ数年の間は、障がいを持つ方の命を軽視した重大事件に対しては、命の価値をどう考えているのかと思わされるようなものがありました。

それらを見ると、私たちが生きている環境の中で、人間の命に対する理解、価値観の把握ということがしっかりとできていない中で、何かの理由で命の価値を自己判断することができるといえる、というような思い込んでしまっている。そういう流れの中で、刑罰としての死刑も許されるものではないか、という考えに至るのは、それはもう本末転倒ではないかと感じています。

そういう意味では、教会は人間の命を大切にしよう、命を守ろう。人間の始まりから終わりまでの全ての段階、条件において、人の命を大切にするのだ、ということを決めることなく主張していきたいと思います。

今日は死刑廃止という問題提起ですけれども、それ以外の様々な局面においても、人間の命を大切に、守っていくということをあくまでも追求し、主張していきたいと思っています。

(おわり)

ささきみつお コーナー

逆説の十カ条

*ブログ：<http://ixsasaki.ti-da.net/>

- 一、人はいい加減で、わからず屋で、わがまま。それでも、人を愛し続けよう。
- 二、良いことをすれば、利己心でしているのだと責められるだろう。それでも、良いことをし続けよう。
- 三、成功すれば、偽りの友と本物の敵が近寄ってくるだろう。それでも、成功し続けよう。
- 四、今日の善い行いは、明日には忘れ去られてしまうだろう。それでも、善いことをやり続けよう。
- 五、正直で率直に生きようとすれば、傷つくことがあるだろう。それでも、正直で率直であり続けよう。
- 六、大きな考えの人は、小さな心の人に攻撃されるだろう。それでも、大きな考えを持ち続けよう。
- 七、人は弱者をひいきにはするが、勝者にかついでいかないだろう。それでも、弱者

のために戦い続けよう。

八、長年かけて築いたことも、一夜にして崩れ去ってしまうかもしれない。それでも、築き続けよう。

九、助けを求めている人を助けても、非難されるかもしれない。それでも、人を助け続けよう。

十、世のためにベストを尽くしても、ひどい仕打ちを受けるかもしれない。それでも、世のためにベストを尽くし続けよう。

(ケント・M・キース 逆説の十カ条 (The Paradoxical Commandments) 私訳)

ハーバード大学二年生のケント・M・キースは、高校生生徒会リーダーを励ますために、百五十回以上の講演を行った。

その時に出した「リーダーシップのための逆説の十カ条」の一部が回り、マザー・テレサがこれを読んで感動し、カルカッタの「孤児の家」の壁に書いて座右の銘としていた。

本物の愛は、人を救おうとする力である。何としても人をキリストに導こうとする情熱である。

そのためには、「どんな障害をも乗り越え、いかなる犠牲をもちとわずに、やり続ける」という神への信仰が必要である。

理事長の奥さんによる 育児日記

A君は、CMやTVで観た情報や、ふと思いついた幼稚園の日常の出来事を話してくれます。「ママー！牛丼が安く買えるんだって！」「ママー、〇〇君のお弁当のウィンナーがタコだったんだって」。この平和な会話に癒されています。

クリスマスプレゼントの下見をしておもちゃ屋さんへ行った時、A君に「どの電車がほしいの？」と聞くと、数ある種類から「これなら安いのね？」と、一番値段が安いおもちゃを選んできて、健気だなと思いました！（笑）

長女のKちゃんは、アンパンマンの自転車がほしいと、朝から晩まで耳にタコができるくらい言ってくるので、早めのクリスマスプレゼントを渡しました。

お姉ちゃんの影響で、次女のRちゃんもアンパンマンが好きになって、二人でお揃いのアンパンマンの洋服を着ています♪



そして最近、A君が「宇宙と繋がれる」と言います。瞬きをする宇宙に行けて、メッセージも伝えてくれます。三人は同じ星から来たとのことですよ！！もしかしたら、レインボーチルドレン（※霊的に覚醒をしている愛と調和をもった子どもたち）！？

塀の中のたより

受刑者からこんなお手紙が届いています

私の回復プログラムの取り組み

きりさん

私は回復プログラム実践以前に、刑務所の特別改善プログラムに参加しましたが、そこからアレンジしたり、『幸いな人』を取り込んでいる独自の感謝日記を続けています。回復プログラム入門も、本編も、認知行動療法（※自身の思考・行動の癖を把握して、認知・行動パターンを整えることにより、生活や仕事上のストレスを減らしていく方法のこと）的なものになっていますが、ちゃんと取り組み、ば、「あ」と気付くことが必ず出てくると思うのです。

毎日同じことしか思い浮かばないなら、それも振り返りであって、周りのことをあまり

気にしていない自分、もしくは気にする余裕のなかった自分について、考えるきっかけとなるのではないだろうか。「思い浮かばない」と取り組まない人は、そこまで考えていないのだと思います。傍から見れば、人と話したり、小さなミスをしたり、不満を述べたり：何かあるはずなのです。

私がつけている感謝日記も、たよりの回復プログラム入門と同じように、シンプルな三段階でやっています。①まず、その日に起こったことを三つくらいまとめ（上役に注意された、ムカついた、など）、②箇条書きにしたそれから、マイナスの認知を探ります（自分は嫌われている、あいつとソリが合わない、など）。パターン化したりもします（自分は何をやってもダメだ、など）。③その後、マイナスをプラスに変換して、感謝を最低三つ書いて、一日を締めます（注意されたのは〇〇のミスの部分だ。次は気を付けられる、感謝！など）。

大事にしているのは、前日の感謝を、次の日に必ず見直すことです。感謝した気分、良い気分になった気持ちを再確認するからこそ、今日の感謝を考えられ、気付くことがあります。悪口が先行したり、思ったようには書けない人もいます。心を書き出す時点では、ネガティブでも良いかなと思っています。

償い続けることによって

罪と向き合う

M 刑 O さん

主に救いを求め、主の導きにより、マザーハウスや文通相手と出会えたこと、感謝しています。この出会いを大切に、これから更生に向かって惜しみない努力を積み重ねていく覚悟です。社会復帰してもスタートラインに立てるわけではなく、むしろマイナスのスタートです。

犯罪者として、社会で生活していくのに厳しい現実が待ち受けていることだと思いますが、そこで背を向けてしまいましたが、主を信じる以前の私自身と変わりなく、同じことの繰り返しです。被害者の立場、苦しみを考えるならば、私は一生、苦しみを強いられるのが当然と考えており、一切の甘えも許されません。刑期は終了する日が来るでしょうが、償いに関しては、終わることは有り得ないのです。逆の立場になって考えたら、絶対に赦せないのです。それだけ被害者に対して酷い仕打ちをしてしまったのです。

罪から逃げるのではなく、贖罪し、償い続けることにより、罪としっかりと向き合い、神に頂いている人生を全うしていきます。

幸せなこと

クレイジーROSEさん

私は七月に本面が入り、出所まであと少しという状況です。本当に帰れるのか、いつなのかは分かりませんが、先のことを考えると不安ですが、今はただただ無事に過ごせるよう、祈るばかりです。

話は変わりますが、皆さんは日々、どれだけ幸せを感じていますか？私は、文通ボランティアの方と色々な話をするのですが、その手紙を読み返していて、幸せについての話をしたものがありません。

人それぞれに幸せはありますが、私は思っています。それが大きい小さいかは、その人自身が決めています。どんなに小さいことでも「幸せ」と感じる人がいます。しかし、目の前にある幸せに気が付かない人もいます。幸せとは、その人自身が見ようとしないうちに、感じることはできません。

私は捕まったばかりの頃、自分は幸せになっただけじゃない、幸せを感じてほしい、そう思っていました。それは大きな間違いでした。生きている私がしっかりと自分のしたことを背負いながら、ちゃんとした人生を歩むこと。それを見失っていました。私がこ



tatsuya さん

のことに気付けたのも、生きていて、人と出会い、たくさんのかを学んだからです。それは一人では気付けたこと、気付かせてくれた人に出会えたことが幸せなことだと思います。

そう考えていくと、私には数え切れないたくさんのかがあります。好きなことを好きと言える、美味しいものを美味しいと感じる、好きな人と笑い合える、大切な人がいる、一緒にいたいと思える人と出会えたこと…私のかがかえのない幸せです。例えその人が近くにいないでも、どこにいても、私の心は変わります。「私たちはずっと一緒」と、その人がくれた言葉を私は大切に信じ、再会できることを楽しみにしています。それも私の幸せで、会えた時は尚更、最高に幸せを感じると思います。

皆さんは、どれくらいのかがありましたか？気が付いていないだけで、案外、近くにあったりするものだと思います。

さかさまの法則

M 刑 N さん

懲役クリスチャンは、何が愛か、何が赦しなのか、何がどうすれば救いなのか、はつきり分からない人がたくさんいると思います。一つ言えるのは、全てイエス・キリストに従うことなのです。信じられるもの、大切に思うものがあれば、人は必ず立ち直れるし、前を向けます。

私も、人は出会いが大切だと思います。言葉の温もりや優しさに敏感なのです。人との良い出会いを持つために、自分に嘘をつかず、自分の弱いところを全部見せて、そこから本当の信頼関係を築いていきたいと思っています。この中の人は皆、私も含め、程度の差こそあれ、弱いのです。だから自分を知らうとしないのだと思います。

事務局より頂いた手紙を読み、夜間独居にて一人泣きました。頭の信仰で生きている！その通りだと思います。聖句を理解することなく、ただ神を信じ、神に全てを委ねようとする。私には内容が無いのです。数学に式があるように、理由や道順が全てあるはずなのに、私には答え、ゴールしかないのです。

自分は弱いのです。では、どこが弱いのか？それは、私はよく弱い者の目線に合わせて話

をしている、と言っていますが、それは勘違いしているのです。そのように思っているだけで、一番弱いのは自分自身です。この人より私が上だ、と思っているから、相手に目線を合わせて…という言葉が出ます。

三年くらい前に、マザーハウスに私の生い立ちを書いたことがあります。部落生まれの私は、物心ついた頃からずっと差別を受け、友達もいませんでした。同級生も、その親たちからも、学校の先生からも、白い目で見られていました。何も知らない同級生からも、「四つ」ってどういう意味か聞かれました。皆さんは知っていますか？「四つ」とは、四つ足で歩く動物から来ています。つまり、部落者は四つ足で歩く動物と同じだということです。人間未満ということなのです。

黒人牧師が言った言葉があります。白人に受けた奴隷差別は赦せても、忘れることはできない…と。差別を受けた者は全員、同じだと思います。

福音歌手の森祐理さんが「さかさまの法則」を述べていました。

身内を失って、いのちの意味を教えてもらった。イエス・キリストの十字架も、イエス様の死があるから、永遠のいのちを得る。失って得る、これが神様の法則だと。喪失があるから回復する希望が、死があるから復活の喜びがある…と。

差別をされ、苦しみ、辛い思いをし、いじめられたから、その仕返しをしていた…といふのが不良少年だった私です。

本当のさかさまの法則は、いじめに遭ったからこそ、人を大切にする、です。これが今の私にとっての「式」です。このことを忘れ、人を弱いと決めつけ、自分の弱い箇所を見せず、強いふりをして、相手目線になったつもりで…と、何てふざけた野郎だと、自分が情けなくなりました。これからはゴールだけの信仰ではなく、ちゃんと式や道で繋がった、内容のある信仰を持ちたいです。

「生きることは義務なのだ。辛くとも生きようとするとき、必ず道は開ける」(三浦綾子)。この私にも、神様がつくってくださった道がきつとあるはずです。人として生きていくために、もっと自分の弱いところを見せ、神様を語っていけたらと思っています。

今の気持ちを実行していれば

丁刑 Kさん

本などの差入れをして頂き、有難うございます。読んでは反省と後悔の毎日です。もっと早くああしておけばとか、あの時こうしておけばと後悔はしても、今となっては取り返

しがつかず、被害者や遺族の方々に、ごめんなさい、申し訳ありませんでした、とただただお詫びすることしかできず、本当に情けないです。

私が今回の事件を犯したときは、自分さえ良ければ、といった身勝手な考えで、人が困っているからといって何で自分が助けないといけないんだと、見て見ぬふりと言うのか、手を出そうともしませんでした。今から思えば情けない話です。本当にあの頃、今の気持ちを実行に移していれば、今回の事件を犯すこともなく、被害者も遺族も出ることが無かったのです。そして、私自身も違った人生を歩んでいたと思うと、情けなさを越して自分の馬鹿さ加減に、後悔しても本当に遅く、ごめんなさいと本当に申し詫びをすることしかできません。

手紙が届かない間

丁刑 Oさん

前回の手紙では大変失礼なお願い事をしてしまい、申し訳ありませんでした。先日、母から便りが届きました。色々あってバタバタしていたみたいですが、家族は特に大きな出来事はなく、元気でやっているとのこと。五か月もの間、便りが無かったので、本当に

今までにはないほどの心配をしてしまい、あんな泣きの手紙を書いてしまいました。本当にすみません。

懲罰は結局、二十日間打たれ、その間、両親が本当に事故とかで亡くなっていたら…など、色々悪いことばかり考えていると、(懲罰で)座りながら泣いた日もありました。両親や、これまで自分を育ててくれた周囲の人に迷惑をかけるばかりで、何も返せていない自分を責め、本気で後悔をしました。

後悔を繰り返していると、人生の中で最も辛いことは、やっぱり愛する人、大切な人の死だと思いました。そして、その次に辛いことと言えば、その人への後悔を持ち続けて生きていかなければならないことだと思いました。自分には、まだまだ大切な人へ伝えられていない「ありがとう」や「ごめんね」があります。自分が生きている限り、大切な人の存在が傍にあるうちに、ちゃんと感謝の気持ちは伝えて生きていかなければいけない、と思いました。

母が便りをくれなかった五か月間は、自分にとって良い薬になったと思いました。今の気持ちを忘れたら、自分は本物のバカだと思っています。

出所の日もそう遠くない未来となってきます。今の気持ちをさらにさらに高めていけるような日々を送り、ちゃんと感謝の気持ち

を持って生きていける自分になって、出所日を迎えられるようにしたいです。

自然に出た言葉

(同じく、) 丁刑 Oさん

先日、分類課の職員が僕のところに来て、「マザーハウスへの帰住は認めない」という保護観察所からの書類を持ってきました。その際、「理由は何なんでしょうかね？」と尋ねると、「まあ、前科がある引受人は大体通らないねえ」と言われました。

観察所も分類の担当も、見る目がないというか、見るところが違うんですよね。前科があるという過去の事実だけをクロージアップして、その人が現在、どういう活動をしているのか、どう人として生きているのかを全く見ていない。「ふざけるな！」ですよ、本当。だから最後に言っちゃいました。：というか、ごく自然に言っていました。「その人がどこに居たとか、どこに居るとかじゃなくて、そこからどう生きていこうとしているか、どう生きているかの方が、百倍大事だと思えますけどね。まあ、僕はもう満期なので、こんな紙切れ、何の関係もないんですけどね。お疲れ様でした」。

官の誤解

K刑 Mさん

本日、入会申込等の同封発信の願箋を申し込んだときのことを報告致します。担当のやり取りをそのまま書きます。

「お前こんなん申し込むんか！」

「はい」

「こんなん申し込んだら、工場で担当にこれ(あっち行けの仕草)されんど！」

「は？」

「身元引受かてあっちが勝手に決めとるだけ、そんなん通ると思っとんのか！」

「…」

「んで皆やつとるんや！ここ(マザーハウス)をトンネルして通して、誰々宛にこの本送ってくれとか、どここの刑務所の誰にこの手紙を送ってくれとかの仲介したり、ここはしとるから、刑務官は皆大嫌いや！担当はよう思わんど！よう考え！」

「はい」

「で、答えは？！」

「願箋お願いします」

「んっ！」

「願箋お願いします」

「あゝ？！どうなっても知らんど」

「はい」

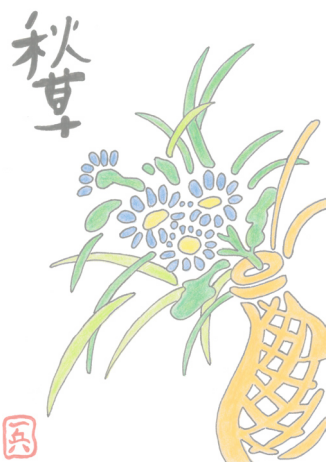
といったやり取りの後、やっと受け付けてもらえました。たぶん、マザーハウスの趣旨を理解していない人間が書いたことを、官は本当にマザーハウスがやっていると思っているのでしょうか、大変残念なことと思います。

※マザーハウスでは、受刑者同士の仲介のよくなことは一切やっておりません。

苦しい時こそ楽しむ

一兵さん

『羅生門』や『蜘蛛の糸』等々の、不朽の名作で有名な、作家の故・芥川龍之介が、「人生は苦しいことばかり。だからこそ人生を楽しむべきだ」という言葉を遺しています。生きていれば苦しくて当然。でも、楽天的に生きよう、というメッセージです。



一兵さん

仕事や人間関係、あるいはお金や健康などの問題でも、人生には苦しさが多々あると思います。私も現在、自分自身の性格・人間性に悩み、昼夜間独居でくすぶっています。でも、苦しいことばかり考えていたって何も解決しないし、心がへこんで、精神衛生上、良いわけがない。だから、楽しむことで心の均整を保つ必要があります。

私は、苦しいことを私ならではの創意工夫で、楽しむようにしています。例えば、辛い仕事でも積極的にアイデアを出したり、私なりの目標を立ててそれをクリアしていったり等、自身のスキルを活かす方法です。また、苦手な人がいても敢えて話しかけてみると、意外な面が見えて楽しく付き合えるかもしれません。そして、苦しみを癒すために、時間を見つけて趣味に没頭したりして、日常を忘れる時間も大切にしています。心の均整を保てるようになれば、心の平穏を保ち、苦しいことを乗り越えていく一つの術にすることができると思います。

割れ窓理論

(同じく、) 一兵さん

皆さんは、ニューヨーク地下鉄の治安改善のために用いられた、割れ窓理論(ブロー

ンウィンドウ理論)をご存知ですか？

あるところの窓ガラスを割れたまま放置すると、人の目が届かないというサインになり、不法投棄や落書きを誘発し、次第に犯罪者や薬物中毒者の溜まり場になり、やがて凶悪犯罪の発生につながり、結果、治安がどんどん悪化する、というものです。つまり、初めは些細な窓割れでも、放置しておくと、「粗末に扱ってもいい」と周囲の人々が考えるようになって、破壊や荒廃がエスカレートしていく、ということですよ。

ニューヨーク地下鉄の場合は、この理論を基に、初めに犯罪の取り締まりではなく、徹底した落書き消しに取り掛かることで、「ここは大切に利用しないといけない」「ここには目が行き届いている」という意識を人々に持たせ、治安の回復に大きく貢献しました。一見軽微なものから取り締まることが大切なのです。

つまり、「割れ窓理論」は、些細な事柄でも放置せず、すぐに修復して綺麗に保つことが、健全であるために必要であることをあらわしています。

この理論は、私たちの心にも当てはまるのではないのでしょうか。何もかもが上手いかないとき、自分が劣っていると考えがちです。自分自身が割れた窓的な心理になっていると言えます。そして、自分を粗末に扱い始め

ます。自分に嘘をついたり、物や人間関係の扱いが悪くなったりすると周りの人も、その人を粗末に扱い始めます。小馬鹿にしたり、無視したり…。自分が自分を粗末にしているんだから、周りの人が同じように接してきても、文句は言えないですよ。そうやって、心も人間関係も悪化していくと思います。

理不尽で腹の立つことが次々と起こり、認められようとしても認めてもらえなくなる。そんな状態を打ち破るためにはどうすべきか。まずは、割れた自分の心を直し、自分を粗末にしないことだと思います。周りを責めずに、自分の言葉・態度から綺麗にしていくことです。

好きなことでもやって心を豊かに取り戻して、自分を綺麗にしていく環境を整えるために、時間と労力を使うことが大切だと思います。何もかもが上手いかない時は、まずは自分の心を綺麗にする。そこから自分らしく生きること、人生の意味があると思います。



きりさん「受胎告知」

七月号の

1854さんの文章を読んで

NS50さん

私はあなたの作業に対する姿勢を見てきました。共同室で執筆活動する姿も見てきました。あなたの童話が、本となって大手出版社から出版されると聞いたとき、私は「やらない」「できない」をこの環境のせいにするのはやめよう、と心に決めました。

そして今、私もまた、将来に向けた色々なことに励んでいます。あなたの背景に元奥さんの力強い言葉があったことは知りませんでした。私の背景には、あなたの更生に対する姿勢があります。少なくとも一人の受刑者に良い影響を与えました。そこで、出版された本のタイトルを教えて頂きたいです。もっと多くの受刑者に、「環境に関係なく、モチベーション次第でこんなこともできるんだ」と勇気を届けられると思います。一層のご健闘をお祈り申し上げます。

終わりのない苦しみを

背負わせている

F刑 Iさん

七月号、八月号の特別コーナーの「にのみやさをり」さん講演原稿は、何度も読みました。私が今、一番考えなくてはならないテーマです。ずっと性犯罪被害を強いられた方のことを考え、本などを読んできましたが、私の考えはまだまだ甘いし、被害者の気持ちを理解することは、被害に遭われた方にしかできないことだと気付かされました。

人間であることを破壊し、どこまで行っても闇の中で、戻ることのできない非日常の日々：被害者一人ひとり、違う苦しみを負って生きている現実を、もっと深く考えなければいけないと感じました。

私が犯した罪は強制わいせつです。きっと被害者の方々の人生を破壊しています。大きな深いトラウマを負わせていると思います。ある日突然、何の落ち度もない人を性犯罪被害者にしてしまい、人生をめちゃくちゃにしてしまいました。刑務所に入ろうが、お金を払おうが、どんなに謝罪しても、絶対に被害者の傷が消えることはない、と改めて思い知りました。毎日寝る前に被害者のことを祈っています。正直、顔は分かりません。私の記憶は、数秒の一瞬の出来事であったということです。しかし、被害者からしてみれば、今までに経験したことのない恐怖、苦痛、悲しみであったと思います。人生を破壊し、今も苦しめ続けているんですね：もっともっと深く考え続けなければいけません。

私もずっと、自分が再犯しなければ被害者は減る、と考えています。そのためには、自分の視点からではなく、常に被害者の視点から性犯罪について考える必要があると思っています。終わりのない苦しみを負わせているのだから、私も生涯、自分の犯した罪を背負い、償います。この特別コーナーを読んだときに、神様が「今のままではダメだよ」と語りかけているように感じました。

悪に反抗する

F刑 Iさん

毎月差し入れてくださる『百万人の福音』では、私はいつも、一番先に最後のページを見ます。「愛のプリズム伝道」の記事を読み、プリズム募金の報告に書かれてある献金者の方々の名前を祈り、感謝しています。毎回献金してくださっている方もいます。多くの方のご支援により支えられている、と強く感じます。

その後に、「ルカが語る福音の物語」を読みます。ルカ文書についてかなり勉強になるし、ルカという人物にすごく魅力を感じます。ルカが伝えようとした福音について考えながらルカの福音書を読むと、今までと違っ

た感覚でみことばが入ってきます。また、「ルカの福音書」「使徒の働き」（使徒言行録）を続けて読んでみると、確かに二部作だと分かりました。この文書でルカはテオフィロに何を伝えたかったのかを考えながら読むと、さらに面白いです。ルカが語る壮大な福音のストーリーを楽しみながら読んでいます。私の考えでは、ルカはテオフィロにパウロ先生のことを弁明したかったのではないかと思います。

聖書ってある日突然、見える景色が変わってくるから面白いです。聖書は一人で読んでも理解するのが大変だけど、この「ルカが語る福音の物語」などあれば、すごく分かりやすいので、私は好きです。

「愛のプリズム伝道」と「ルカが語る福音の物語」を読み終えると、最初から順番に読んでいます。ブルーリボン・レポートの横田さんの記事からも、毎回、様々なことを学んでいます。どんなことがあろうとイエス様を信じる信仰、感謝の言葉など、この方もキリストに熱く生きていますと感じます。

最後に今、気になっている聖書のみことばを書きます。それは、ヤコブの手紙四章七〜八節です。「だから、神に服従し、悪魔に反抗しなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げて行きます。神に近づきなさい。そうすれば、神は近づいてくださいます。罪人

ブログ：<https://ameblo.jp/npo-motherhouse/>

理事長の奥さんによる Lovely DAYS



増税前に、オリジナルTシャツを作ってみました♪(笑) みんなを笑顔にするこのTシャツ、誰か着てみたい方はいませんか？

たち、手を清めなさい。心の定まらない者たち、心を清めなさい」。

このみことばから、神様に近づくことと同時に、悪魔に立ち向かうことが大切だと示されています。神様に近づこうとしているからといって、本気で悪魔に立ち向かっているとは限りません。「これくらい大丈夫だろ」と自分の考えで行っていることが罪なのだと最近感じています。悪魔に立ち向かうことができるよう、祈ります。

特別コーナー②

河野ハレのブログ

★ International Christian Bible Fellowship (ICBF) の河野健牧師が発信する「河野ハレのブログ」の記事をご紹介します（文章は原文ママです）。
※二〇一四年の記事です。

「さかさまの法則
—心にあいた穴を通して
人に力を与えられる—」

森祐理（ゴスペルシンガー）

(<https://ameblo.jp/praise-the-lord/entry-11761012255.html>)

☆

阪神淡路大震災で弟の渉（わたる）さんを亡くしたゴスペルシンガーの森祐理さんは

「心に穴があいた気がした」と、よくコンサートで話す。

しかし、それは「心の一部に穴があいた気がした」という意味ではなく、穴があいたおかげで広がったということです。「その広がった、あいたところから、本当にいろいろなものが入ってくるようになりました」。

それまで分からなかった、「ああ、この人はこんなに痛んでいたんだ」という気づき、「もっと違う返事をすればよかった」という思いなど、自分が痛んだその穴を通して、人の痛みが見えてきた。温かい一言も、その穴から沁みこんで来た。

震災から二週間後、弟の住んでいた下宿のつぶれたさまを目にした。そのときに思った。「イエス様を信じてからこれまで、イエス様は私に悪いことは一度もなさらなかった。だから、このことにも絶対に意味がある。何か益に変えてくださるに違いない」と。

あれから十二年（十九年―筆者―）、弟が天に召されたことにはやはり大きな意味があったと、祐理さんはつくづく感じている。一つは家族の上に起こされた意味。もう一つの意味は、自身の福音歌手としての働きに關してのことである。

教誨（きょうかい）師を務める牧師が（祐理さんの）そんな救援活動を知り、「刑務所

に来てもらえませんか」と声を掛けた。痛んだ人々がそこにもいた。刑務所でのコンサートは、聞きたくて集まる聴衆ではない。規律正しく座っていても、表情は硬い。

何も期待していない数百人から千人を越す「お客さん」を前に、ドレスを着た祐理さんが「みなさん！こんにちわ！」と歌いながら登場すると、入れ墨に鋭い目つきの男たちが「何や、こいつ」とあきれた視線を投げつける。その中を「神様、助けてください」と祈りながら歌い続けるうちに、一人ひとりの顔が少しずつ変わって来るのが分かる。背中がだんだん震えてきて、汗をぬぐうようにして肩で涙をぬぐいながら聴いている。

こわもての男たちが童謡の「ぞうさん」を聴いて泣くのだと言う。

「この歌の詞は、まどみちおという詩人がメッセージを込めて書いたものです。お鼻が長くてみんなにいじめられていたぞうさん。このお鼻を神様が最善として造ってくださいました。ありのままの自分でいいと気づくのです。どんな状況でも、ありのままのあなたが神に愛されている。そう語ると、皆さん涙を流されますね。そこに神様の大切なメッセージがあるのだと思います」

虚勢を張って生きてきた男たちが、男泣きに泣くほどに自分を開く。そこにやはり、心にあいた穴がある。その穴を通して心に届く

力が歌にはある。いや、その背後に神様の力があると、祐理さんは信じている。

刑務所慰問後には、「祐理さん、イエス・キリストって、いるんですね」「神を信じた」「出所して、まず行きたい所は教会です」という便りや感想文が何百通と届く。

最後に、森祐理さんの「喪失が希望に変わるとき」から。

「私は、よく『さかさまの法則』ということばを使います。弟を失ったいのちの意味を教えてもらった。イエス様の十字架も、イエス様の死があるから、永遠のいのちを得るということですよ。失って得る。これが神様の法則なんだろうなあと思います。喪失があるからこそ回復する希望が、死があるからこそ、復活の喜びがあります。神様は震災や災害を通して、私たちの心を揺り動かしておられるように思います。それは、たとえ災害でさまざまなものを喪失しても、永遠のいのちを喪失することがないように、との愛のメッセージでもあると思うのです」（参考…「地上に輝く星たちⅡ」マナブックス）

NS50さん

「愛を告げるリス」



（おわり）

看護師 中谷先生による

健康相談窓口

歯ぎしり

外を散歩していると、金木犀の香りがほのかに感じられる今日この頃です。皆さま、お元気に過ごされていますか？今回は、歯ぎしりでお悩みの方からご質問を受けましたので、回答していきます。

歯ぎしりでお困りの方はどのくらいお見えになりますか？歯ぎしりをしているご本人よりも、同室者の方が苦痛に感じているかも知れませんね。

一．歯ぎしりの種類

- ①グライディング（ギリギリ音）
：上と下の歯を強く食いしばり、横に動かす感じ（一番頻度が高い）
- ②クレンチング（無音）
：奥歯を噛みしめる歯ぎしりの一種で、横

に動かすことはないため、音がしないのが特徴（奥歯にもものすごい力がかかっている）

③タッピング（カチカチ音）

：歯をカチカチと噛み合わせるもので、他の二つよりも頻度は低い

二．歯ぎしりの原因

- ①ストレス
- ②噛み合わせに問題がある場合

三．治療方法

- ①マウスピース
- ②薬物療法（抑肝散という漢方薬が効果的であると言われる）

私自身も以前、虫歯や歯茎が原因ではなく、無意識な歯の食いしばりが原因となって、歯の違和感があり、歯科を受診してマウスピースを作成させられました。しかし、現実的にマウスピースを口に入れて休むのは気持ちが悪く、口の中のべとべと感が嫌で、数回使用しただけで捨ててしまいました（勿体ないけど…）。そこで、施設の中においても自身でできるケアをご紹介します。

四．セルフケア方法

- ①起きているときは、意識的に上の歯と下の歯を合わせないようにする（奥歯を噛みしめないようにする）。
- ②口の周囲の筋肉が緊張している（硬い）と、歯ぎしりを誘発します。そのため、口の周囲の筋肉をほぐすように、マッサージしてください。
- ③就寝時、枕を高くしすぎないように、仰向けて眠るようにしてください。また、入眠する際、リラックスできるように、深呼吸（鼻から息を吸って口から吐く）を十回してください。

入眠中に歯ぎしりをしている場合、自身には分からないことも多いです。そのため、下記に改善した方が良い目安を紹介しておきます。参考までにご活用ください。

歯ぎしりを改善した方が良い目安

- 朝、起きた時に歯や顎が痛い、顎が疲れていることが多い
- 歯がかかり、すり減ったりしている
- 起きているときに、無意識に歯を噛みしめていることがある

つぶやき！

昔、私の妹の夫が刑務所に入っただけで、子供二人を育てていくのが苦になってしまい、子どもを部屋に残したまま、妹がどこかへ行ってしまう。私が部屋を訪ねたときは、子どもたちは、ご飯も食べることで、おむつはビショビショで泣いていました。児童相談所の方に連絡して預かってもらい、その後、子どもたちは養護施設に引き取られ、中学校までそこで暮らしていました。私も養護施設で育ったので、子どもたちの気持ちは良く分かります。クリスマスのときには面会に行き、お菓子などを買って、子どもたちの明るい笑顔を見るのが楽しかったです。

最近では、ドヤ街の中にある教会に週一回、通っていました。ホームレスの人たちにおにぎりやパンを配ったりする活動が好きでした。いつまでもこのような活動を続けてほしいと思うし、他の人にも、こんなところがあるんだよ、と教えたいです。そんなこともあり、マザーハウスに入会しようかなと思った次第です。今は、更生するにはどうしたら良いか、真面目に考えますので、これからもよろしくお願いします。

(T刑 Yさん)

「俺はこの仕事を何十年もやってるんだぞっ！ たった数年しかやってないクセにっ！」などと、時間の長さだけを誇る方がいますが、果たしてそうなのではないか？

何でも、長くやっていれば少しくらいはそれなりに磨きがかかるものです。しかし、そのものの「価値」は、物理的な時間の長さより、煮詰めたものの深さ、広さ、密度なんじゃないでしょうか？ ただ唯々諾々（いいだくだく）（※物事の良し悪しに関係なく、少しも逆らわずに言いなりになること）と過ごした時間は、物理的に長くても、それだけをとって「価値」あるものだとは呼べない、と私は思います。皆さんはどう考えますか？

(一兵さん)

本年、事務局から届いた「身元引受人可否決定通知書」の指示通り、「身元引受人設定願」をすぐ提出していましたが、半年後、身元引受人が不許可との通知告知を受けました。理由の欄に三項目があり、その中の「身元引受けの意志なし」でした。

事務局から通知書が届き、設定したのに関わらず、「身元引受けの意志なし」とはどういうことなのかと、疑問を抱いています。

(K刑 Sさん)

みんなの！回復プログラム 入門 (誤字脱字以外 原文ママ)

テーマ【ホッとする時】(8月号)

- ① 最近、ホッとした経験はありましたか。それはどんなことですか。
- ② 私が一番ホッとするのは、どんな時、何をしている時ですか。
- ③ 今の環境で、どうすれば、ホッとできるひと時を持つことができるでしょうか。

① 9割方は諦めていた「絵画クラブ延長」が認められて、ホッとしました。そして、また1年間、頑張ろうと思いました。

② もちろん、絵を描いているときに、わたしが一番好きな時間で、その作品が思いどおりに完成したときに、ホッとします。

③ 絵の道具を部屋で所持・使用できるのは、クラブ員だけ、つまり、収容者およそ860人の中の20人だけです。好きな絵を描けるこの環境を守るためには、普段からの生活をしっかりとしなければなりません。(光りんさん)

回復プログラム 入門

★このコーナーでは、自分の心を書き出す練習をします。マザーハウスの回復プログラムに既に挑戦しておられる方も、ぜひ取り組んでみてください。

【コツ】綺麗に書こう、丁寧に書こうとせず、リラックスして、出てきた思いをそのまま乱雑に書き出す。

後でやろうと思わず、一行書くだけでも、今やってみる（看板イラストの枠をお使いください）。

【補足】よろしければ、書いた内容を事務局にお送りくだされば幸いです（たより掲載の可能性もあるので、掲載を希望しない方は掲載不可と明記してください）。また、ノート等に写し、後で見返せるようにすることをおすすめします。

★今月号のテーマ：【泣きたい時】

①今、「泣きたい」と思うことはありますか。それはどんなことですか。

②今までを振り返ってみて、私がよく「泣きたい」と思うのは、どのようなときが多いですか。

③「泣きたい」と思ったとき、実際に泣きますか。また、泣いた後は、どんな気分になりますか。

専門インストラクター ニロ先生による

プリズムアート倶楽部

「晩秋の森」



★このコーナーは、絵画の模写を体験するものであり、絵画技法の習得を目指すものではありません。模写（アレンジOK）の投稿を募集中です。
★当技法についての詳細を知りたい方、また、作品発表等について考えている方は、規定が設けられていますので、必ずご相談ください。

【解説】ボタニカルファインアート技法とパステルアートのコラボレーションで描いていますが、ボールペンや鉛筆等、入手し易い文具で描いてくださって結構です。ボールペンは、PILOTの細いペン等が推奨されていますが、描きやすいと感じるもので良いと思います。鉛筆は、形が見やすいように、B以上のもので濃く描くと、質

感も柔らかく、描きやすいです。HBやH等ですと、固い質感の為、描きにくいかと思います。

文通をされている方は、見本の絵を色々アレンジして、便箋や封筒に描くと、楽しく可愛いアクセントになりますので、ぜひお試しください。

【今月号のコツ】全体的に、太めの鉛筆でしっかりと、柔らかい線になる様に描きました。

落ち葉には、虫食いの穴の形を描き、どんぐりも二種類描いています。本物らしさを出す為に、どんぐりや、栗の上部や下部の所の点々模様は、しっかりと描きました。くまさんは、全体的に可愛らしく丸みをつけて描き、首のマフラーは、風に吹かれているイメージで、先端部を上向きに描きます。くまさんの抱えるかぼちゃは、先月に描いたハロウィンのかぼちゃを参考にし、描かれてください。AUTUMN（秋）の文字は、太めの鉛筆でしっかりと書きました。

一つひとつの絵の形は、ハンドペイントの良さを生かして、不揃いでも、何でも構いません。絵は、自分の中のイメージを表現する事が大切なので、自由に、楽しみながら、表現されてください。

お知らせ・編集後記

お読みくださり有難うございます！

理事長挨拶が毎回怒ってばかりで耳にタコができたよ…という意見が時々ありますが…それを毎月何度も読みながら編集している編集局は、もっとタコだらけですので、ご安心(?)ください!笑 それだけ毎月、同じことを書いてくる方が減らないし、理事長にとって大切な内容なのですね。耳にタコが…と思う内容でも案外すぐ忘れてしまうから、逆に記憶に定着して良いや!とポジティブに作業している今日この頃です。笑

それでは、来月号もお楽しみに! 編集局

★移送・出所ではないのに、誤って刑務所からたよりが戻ってくる場合が稀にあります。たよりが戻ってきた方には次号が送られないので、万が一、突然送られなくなった場合は、お手数ですがご連絡ください。

★聖書をご希望の受刑者の方は、郵送料800円分の現金書留または切手を、「聖書希望」と明記したお手紙と一緒に送ってください。

★年金に関する手続きをご希望の方には、年金関係の書類をお送りしております。

★身元引受不許可に関する問合せが多いですが、マザーハウスでも詳細が不明なため、観察所に直接お問合せ願います。決定を出してもらえるよう、当法人側でも尽力しておりますが、受刑者の皆さんからも観察所へアプローチして頂ければと思います。なお、有期刑の場合、マザーハウスでやり直したい!という方は満期出所後のサポートも可能です。出所日の朝に必ずお電話ください。ただし、あくまで当分の住居や仕事がほしただけ、という方はご遠慮くださいませ。

★マザーハウスでは、会計と事務局が独立しているため、入会申込書等の書類が揃わないと、会費を納めていても会員登録ができていない場合がありますので、ご注意ください。

ご支援 本当にありがとうございます!

9月3日～10月8日の寄付金

合計: 108,100 円

(内 愛のプリズム宣教基金: 1,000円)

(別途 10/19 受刑者のためのミサ献金: 90,239円)

行事予定

▼ 11 / 19 13:00 ~

東京地方裁判所刑事部にて、情状証人

▼ 11 / 22 8:00 ~

黒羽刑務所にて、社会復帰支援
(ご家族からのご依頼)

▼ 11 / 27 10:00 ~

弁護士会 (更生支援計画等)

▼ 11 / 28 10:30 ~

國學院大學法学部にて、講義

▼ 11 / 29 10:45 ~

国士舘大学法学部にて、講義

▼ 12 / 2 9:00 ~

美祢社会復帰促進センターにて、
「健康維持増進ケアモデル講座」

▼ 12 / 2 17:00 ~

マリア・カフェにて、APS 研究会 (in 東京)

▼ 12 / 7 14:00 ~

聖イグナチオ教会内 岐部ホール 404 号室にて、
対談「社会復帰の道のり」(VIP プリズム)

▼ 12 / 15 13:30 ~

立正大学 品川キャンパス 3 号館 334 教室にて、
シンポジウム「受刑者の健康と刑務所生活」

▼ 12 / 16 17:00 ~

パートナーズ法律事務所 青年法律家協会にて、
講演「受刑者・元受刑者の社会復帰の道のり」

マリアコーヒー（ルワンダ・コーヒー）

＊製造から販売まで、元受刑者が携わっております。

FAX：03-6659-5270

メール：maria_coffee@motherhouse-jp.org (QR →)

価格：粉200g または 豆200g …… 900円＋税
カフェドリップ10g（1回分）…… 100円＋税



☆継続して購入・販売してくださっている皆さま（順不同）☆

カトリック茅ヶ崎教会／カトリック北仙台教会／カトリック
所沢教会／カトリック浜松教会／カトリック東山教会／
カトリック布池教会／カトリック菊名教会／カトリック中
和田教会／カトリック新子安教会／カトリック碑文谷教会
／カトリック桃山教会（平和環境部）／カトリック東仙台
教会／カトリック春日部教会／カトリック足利教会／カトリック神田教会／
カトリック太田教会／カトリック大分教会／カトリック西千葉教会／カト
リック下井草教会／カトリック新潟教会／カトリック多治見教会／カトリック
芦屋教会／カトリック鷺ノ宮教会／ドン・ボスコ社／クリスト・ロア宣教
修道女会／日本カトリック神学院／聖母訪問会



☆ルワンダの祈り☆

ルワンダでは、1994年、フツ族によるツチ族の大虐殺
がありました。史上稀に見る残虐な内戦によって、ルワ
ンダの人々は心身ともに非常に深い傷を負います。

しかし内戦終了後、恨みや憎しみから、復讐が復讐を呼ぶ状況に陥り
かねない中、ツチ族の人々は、復讐ではなく、和解と共生を選択しました。
マリア・コーヒーは、この和解と共生の地から届けられた生豆を使用し
ております。

獄中POSTシリーズ

＊獄中ボランティアの方が描いた絵画や文字を、
ポストカード・封筒・便箋に印刷する企画です。

FAX：03-6659-5270

メール：motherhouse.tayori@motherhouse-jp.org (QR ↑)

入手方法：講演会等での販売のほか、ご注文を受け付けております。

☆ポストカード／封筒は1枚300円、便箋は10枚300円

☆ホームページにカタログ（随時更新）がございます。

☆収益は全て、身寄りのない方の住宅支援に充てられます。

また、ご寄付・ご支援くださった方に、デザイン等ランダム
でお贈りしております。



マザーハウスたより 11月号

発行日：2019年11月15日 発行責任者：五十嵐 弘志
〒130-0024 東京都墨田区菊川1-16-17-102 NPO法人マザーハウス



↑ 理事長 Facebook ↑ 理事長奥さんブログ ↑ MLP問合せ

ラウレンシオ（便利屋業）

＊元受刑者の就労支援の一環として、不用品処理、遺品整理、
掃除などをさせていただきます。お見積りは無料です。

TEL：080-4614-8508

FAX：03-6659-5270

メール：lawrance@motherhouse-jp.org (QR →)



古本募金（きしゃぽん）

＊書籍やDVDを下記送り先にご寄付頂くと、

マザーハウスに還元されます。

送り先：〒358-0053 埼玉県入間市仏子916

マザーハウス きしゃぽん係

（マザーハウス事務所に送らないようお願いください）

TEL：0120-29-7000

カウンセリング

＊当事者やご家族の方を対象に、専門家がカウンセリングを行います。

※価格は別途かかります。

メール：counseling@motherhouse-jp.org (QR ↓)



お問合せ

いつも有難うございます。随時ボランティアの方を募集しております。

TEL：03-6659-5260

メール：info@motherhouse-jp.org (QR →)

ホームページ：「NPO マザーハウス」でご検索ください。(QR ↓)



ご支援

☆正会員（一口5000円／年） ☆賛助会員（一口3000円）

☆社会復帰支援（ご寄付）を随時募集しております。

→振込口座名：

特定非営利活動法人 マザーハウス 【トクヒ）マザーハウス】

郵便振替口座 … 00170-0-586722

みずほ銀行 … 新宿支店 普通口座 2376980

☆洋服等の物資の送付先：

〒130-0024 東京都墨田区菊川1-16-18-1F マザーハウス

(TEL：03-6659-2110)